

★えほん★

「きみもこねこなの？」

エズラ・ジャック・キーツ／作・絵 当麻ゆか／訳 徳間書店

E4キイ

みんなといっしょでたのしいね。そこにだれかがきたよ。「きみもこねこなの？」「えっと…そう！」。ミルクもいっしょにペロペロ…ベロン！でも、みんなでいっしょにないたら…。



★よみもの★

「拝啓、お母さん」

佐和みずえ／作 かんべあやこ／絵 フレーベル館

931サワ

「もう妹なんかいらな
い！」お母さんにひどい言葉
を投げつけたまま、ゆなは
たった1人で九州のじいじ
の家で過ごすことに。そこで
昔ながらの活版印刷にて、
言葉が生きていることを知る。



★しらべもののほん★

「築づくりの名人スズメバチ」

須田眞正／さく+写真 六耀社 486

五月、女王バチが築づくりをはじめた。はたらしきバチがたんじょうするまで、女王バチはとてもしがしい。たった一匹で巣をつくり、卵を産み、幼虫をそだてるからだ。春から順に冬へと、気性の荒いスズメバチの生活とやさしい表情を観察してみよう。



あたらしい本のコーナー

「めけちゃった」

スティーブ・アントニー／さく せなあいこ／やく 評論社

E4アン

ビビちゃんはパソコンがだいすき。まいにちパソコンにつながって、ゲームをしたりおんがくをきいてあそんでいた。だけど、あるひ、コードにつまづいてそのままおそとにとびだしてしまった。ビビちゃんのぼうけんがはじまった。



「タコめし」

つきおかようた／作 白泉社 E3ツキ

タコキッチンほうみの見えるおかのうえにある。うでのいいタコさんがいろんなおべんとうをつくる。きょうもおひるは大いそがしで、あつというまにうりきれ、おかすがもうない。さいごのおきやくさんがやってきた。どうする、どうする？タコさん！！



「化けて貸します！レンタルショップ八文字屋」

泉田もと／作 岩崎書店 931イス

江戸のかたすみに「八文字屋」という店があった。今でいうレンタルショップ。じつは店の主人も奉公人も全員がたぬき。そこに文吾という人間の子どもが奉公にきた。たぬきたちは反対するが…。



「リンちゃんとおネネコさん」

森山京／作 野見山響子／絵 講談社 931モリ

リンちゃんは小学四年生。ネネコさんは負けん気の強い気さくなおばあさん。ある日、ネネコさんが走って転んだ時、リンちゃんが助けたのが出会い。家も連絡先もわからないのに、リンちゃんはどうやってまたネネコさんと会えるようになったのか。年の離れた友情物語。



「妖怪美術館」

広瀬克也／作 絵本館 E3ヒロ

天才妖怪画家のガンマー作品展をみに、美術館にやってきた。いりぐちで、ガンマーさんがでむかえてくれた。でも、会場は妖怪でいっぱい。なかなか前へすすめない。すいている絵をみつけたと思ったら、絵の中のおんなのこの妖怪にぼうしをとられちゃった。ぼくのぼうし、かえしてー。



「レイミー・ナイチンゲール」

ケイト・ディカミロ／作 長友恵子／訳 岩波書店

932テイ

レイミーは中央フロリダ・タイヤ社の美少女コンテストに応募するつもり。優勝して新聞に出れば、かけおちしたお父さんが帰ってくるかもしれないから。コンテストのために習いにいったバトン教室で、レイミーはちょっと変わった二人の少女に出会った。



「たべかたのえほん」

石田葉音／文 よしのぶもとこ／絵 PHP研究所

59

ごはんをおいしく、楽しく、食べるためのたべかたがあるって知ってる？おはしやおちゃわんの持ち方をはじめ、みんなでおなべをかこむときや、おみせで食べる時など、しょくじのルールもいろいろあるんだ。



「珍獣ドクターのドタバタ診察日記」

田向健一／著 ポプラ社 64

「いろんな動物をみられる獣医さんになろう」と志して動物病院を作った田向さん。病院には、石を飲みこんだアマガエルから、こうらのわれた巨大リクガメまで、さまざまな動物がやってくる。そんな動物病院の毎日と動物たちの命のおはなし。



「目でみる地下の図鑑」

こどもくらぶ／編 東京書籍 03

道路を歩いていて、地面のブロックが持ち上がっているのを不思議に思ったことない？この本は、地面の下の木や植物の根っただけでなく、地下に住む動物や洞窟や湖、そして地球の内側のことなど教えてくれる。のぞきに行ってみよう。

